SONY

2-102-860-**01** (1)

ポータブルハードディスクオーディオプレーヤー

Network Walkman

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

読みたいページにジャンプするには、PDFの「しおり」を表示して項目をクリックするか、取扱説明書の「目次」で項目をクリックしてください。

WALKMAN　Atrac3plus

NW-HD1

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために注意事項を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5~8ページの注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

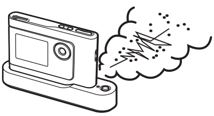
1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、USBクレードルやACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら



❶ ACパワーアダプターを使用中の場合は、コンセントから抜く。

❷ お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電　破裂

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止
接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示

目次

この取扱説明書では、本体での操作を主として説明しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属のソフトウェアについて

- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- □ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- □ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- □ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- □ 付属のソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部違うところがある場合があります。
- □ この取扱説明書は、お客様がWindowsの基本操作に習熟していることを前提にしています。
パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

危険 火災 破裂

この製品はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。
漏液、**発熱**、**発火**、**破裂**などを避けるため、
必ず下記の注意事項をお守りください。

指定以外のACパワーアダプターを使わない。

禁止

充電するときおよび家庭用電源で使用するときは、必ず指定のACパワーアダプターとUSBクレードルを使用してください。
破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

火の中に入れない。

禁止

分解しない。

分解禁止

感電の原因となります。充電池の交換、内部の点検および修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。
ただし、廃棄時には43ページの手順に従って内蔵の充電池を取りはずし、リサイクルにご協力ください。



火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。

禁止

USBクレードルにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かない。

禁止

USBクレードルの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談下さい。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けて下さい。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談して下さい。

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない。



- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない。



水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、ACパワーアダプター、USBケーブルをUSBクレードルから抜き、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

海外で使用しない。



交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。



感電の原因となります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり
周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない。

感電の原因となることがあります。



大音量で長時間続けて聞きすぎない。

耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。



はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。



通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない。

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



本体やUSBクレードル、あるいはACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



使用上のご注意

本機の取り扱いについて

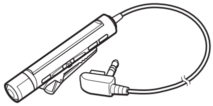
- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない。本機の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かない。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  - ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内（とくに夏季）。
  - 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  - ホコリの多いところ。
  - ぐらついた台の上や傾いたところ。
  - 振動の多いところ。
  - 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離す。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはお客様ご相談センターに相談する。

ご注意

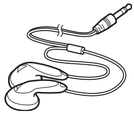
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。

付属品を確かめる

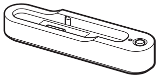
- リモコン（1）（本機専用）



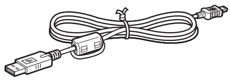
- ヘッドホン（1）



- USBクレードル（1）



- 専用USB接続ケーブル（1）

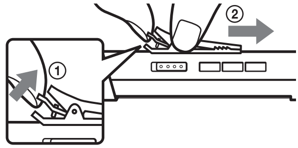


- ACパワーアダプター（1）
（付属USBクレードル用）
- キャリングポーチ（1）
- CD-ROM（1）*
（SonicStage（ソニックステージ）、取扱説明書のPDF）
- クイックスタートガイド（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- カスタマー登録のお願い（1）
- 安全のために（1）

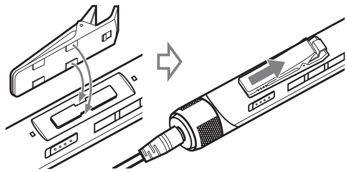
* CD-ROMは、音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

リモコンのクリップの向きを変えるときは

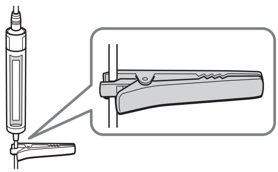
1 リモコン裏面のクリップを外す。



2 左右反対に取り付け直す。



リモコンのコードに通すときは

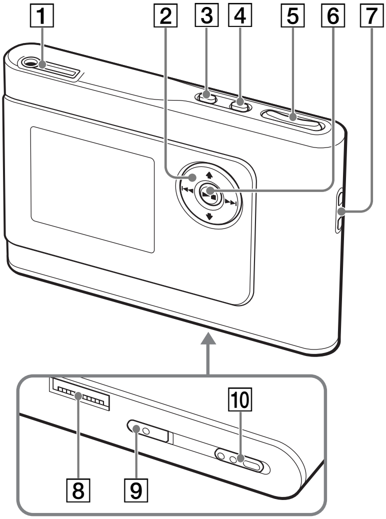


別売りアクセサリー

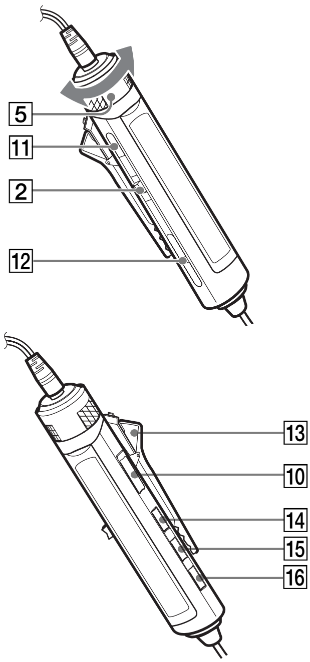
漢字表示対応 スティック コントローラー リモコン	RM-MC35ELK
アクティブ スピーカー	SRS-Z30 SRS-Z510
ヘッドホン	MDR-E931SP MDR-EX71SL MDR-G64SL
接続コード	RK-G129/RK-G129CS RK-G136/RK-G136CS
カーコネクティ ングパック	CPA-8

各部の名前

本体



リモコン



1 ☊（ヘッドホン）/LINE（ライン） OUT（アウト）ジャック（☞23ページ）

2 本体：⬆、⬇、⏮、⏭ボタン（☞25、27ページ）
リモコン：ジョグレバー（⏮、⏯/ENT（エンター）、⏭）（☞23、25ページ）

3 MENU（メニュー）ボタン（☞31、34ページ）

4 MODE（モード）ボタン（☞27ページ）

5 本体：VOLUME（ボリューム）＋*/－ボタン（☞23ページ）
リモコン：VOL（ボリューム）＋/－つまみ（☞23ページ）

6 ►■（再生/停止）ボタン（☞23、25ページ）

7 ハンドストラップ穴**

8 USBクレードル接続部（☞12、20ページ）

9 BUILT（ビルトイン）－IN BATTERY（バッテリー）スイッチ（☞12ページ）

10 HOLD（ホールド）スイッチ（☞24ページ）

11 ■（停止）ボタン（☞25ページ）

12 🗀＋/－ボタン（☞25ページ）

13 クリップ（☞9ページ）

14 DISPLAY（ディスプレイ）ボタン（☞26ページ）

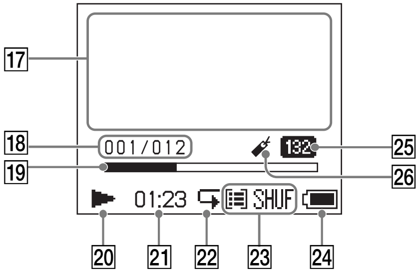
15 P（プレイ） MODE（モード）/⮌（リピート）ボタン（☞31、33ページ）

16 SOUND（サウンド）ボタン（☞34ページ）

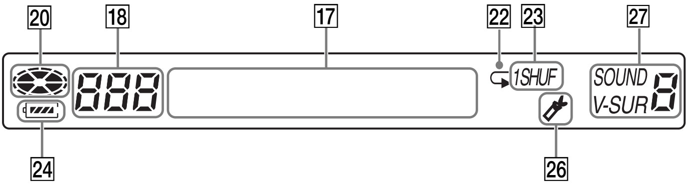
* 凸点（突起）が付いています。操作の目印として使ってください。

** お手持ちのハンドストラップを付けられます。

本体表示窓



リモコン表示窓



17 文字情報表示部（☞26ページ）

18 曲番表示（☞26ページ）

19 再生位置表示（☞26ページ）

20 再生状態（☞26ページ）

21 再生時間（☞26ページ）

22 リピート表示（☞33ページ）

23 プレイモード表示（☞31ページ）、サウンド表示（本体のみ、音量調節時、☞35ページ）

24 電池残量表示（☞14ページ）

25 ビットレート表示（☞18ページ）

26 ブックマーク表示（☞30ページ）

27 サウンド表示（☞35ページ）

シリアルナンバーについて

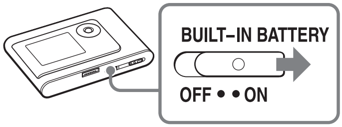
カスタマー登録の際に、本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。シリアルナンバーは、本体裏面のラベルに印刷されています。

電池を充電する

初めて使うときや電池が消耗したときは、本体内蔵の充電式電池（充電池）を充電してください。

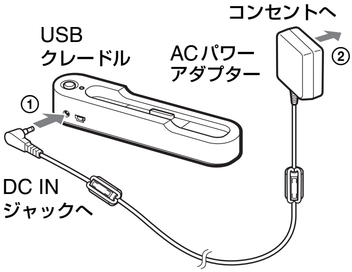
1 **BUILT-IN（ビルトイン） BATTERY（バッテリー）スイッチをスライドしてON（オン）にする。**

内蔵リチウムイオン充電式電池の保護機能が解除されて、通電が始まります。通常はONのままお使いください。



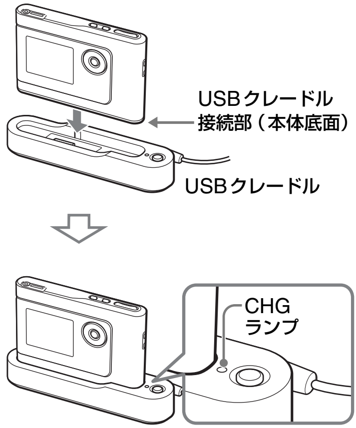
2 **USBクレードルを電源に接続する。**

先にACパワーアダプターをUSBクレードルのDC INジャックに接続し、次にコンセントに差し込みます。



3 **本体をUSBクレードルに取り付ける。**

イラストの矢印の向きに、「カチッ」と音がするまで本体を差し込みます。USBクレードルのCHG（チャージ）ランプが点灯して、本体の電源が入っている場合はバッテリー表示が変わり、充電が始まります。

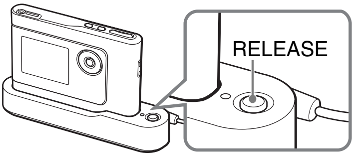


充電は約3時間*で終わり、CHGランプが消えて、本体の電源が入っている場合は表示窓に稲妻マークが点灯します。本体表示窓が消えた状態で充電すると、約1時間*で約80%充電されます。

* 室温で電池残量がない状態から充電したときの目安です。本体表示窓がついている場合は、約6時間で約80%充電されます。電池残量や電池の使用状況により、充電時間は異なります。また、充電時の温度が低い場合は、充電時間は長くなります。

USB クレードルから本体を取り外すには

RELEASE（リリース）を押す。

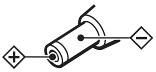


ご注意

- 充電中に長時間パソコンとUSB 接続していると、本体の温度上昇を抑えるために一時的に充電を停止することがあります。充電が停止した場合は、CHG ランプが消えます。USB クレードルから本体を外し、しばらくたってから再び充電をしてください。
- 3 か月以上お使いにならないときは、内蔵充電池の劣化を防ぐため、BUILT-IN BATTERYスイッチをOFF にしてください。
- 充電は周囲の温度が5 〜 35℃の環境で行ってください。

AC パワーアダプターについてのご注意

- 本機には、付属のAC パワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA 規格）をご使用ください。上記以外のAC パワーアダプターを使うと、故障の原因となることがあります。



極性統一形プラグ

- AC パワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合はすみやかにコンセントから抜いてください。
- 充電には付属のAC パワーアダプターとUSB クレードルをお使いください。

リチウムイオン電池について

Li-ion

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

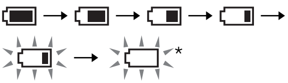
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会ホームページを参照してください。
URL: http://www.baj.or.jp/
（「本機を廃棄するときのご注意」☞43 ページ）

次のページにつづく ⟹

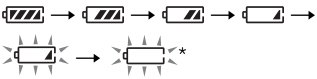
電池残量を確認する

表示窓に電池残量が表示されます。黒い目盛りが少なくなるほど、残量が減っています。

本体表示窓



リモコン表示窓



* 本体表示窓には「電池残量がありません」、リモコン表示窓には「LOW（ロー） BATTERY（バッテリー）」と表示され、「ピー」という音がします。

電池が消耗しきったら、充電池を充電してください。

ご注意

- 残量表示は目安です。1つの目盛りが4分の1を示しているわけではありません。
- 動作状況により、残量表示は増減します。

電池の使用可能時間（連続再生時）*

ATRAC3plus（アトラックスリープラス） 48kbps再生時で、約30時間です。再生時間は使用状況によって変わります。

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

SonicStageをパソコンにインストールする

付属のCD-ROMを使って、パソコンにSonicStageをインストールします。

必要な環境を準備する

以下のハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

パソコン	IBM PC/AT互換機	
	● CPU：Pentium Ⅱプロセッサー 400MHz以上（Pentium III 450MHz以上推奨） ● ハードディスクの空き容量：200MB以上（1.5GB以上推奨） （お使いのWindowsのバージョンや扱う音楽ファイルの量に比例して空き容量が必要です。） ● RAM：64MB以上（128MB以上推奨）	
	その他	● CDドライブ（WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブ） ● サウンドボード ● USBポート（本機はHi-Speed USBに対応しています。）
OS	下記、日本語版標準インストールのみ Windows XP Media Center Edition 2004/Windows XP Professional/ Windows XP Home Edition/Windows 2000 Professional/ Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition	
ディスプレイ	ハイカラー（16ビットカラー）以上、 800×600ドット以上（1024×768ドット以上推奨）	
その他	● CDDB、MUSIC NAVI、インターネット音楽配信サービス（EMD）を利用する場合は、インターネットへの接続環境 ● WMAファイルを再生する場合は、Windows Media Player 7.0以上がインストールされた環境	

ご注意

- 以下のシステム環境での動作保証はいたしません。
  - －上記のOS以外のOS
  - －自作PC
  - －標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
  - －マルチブート環境
  - －マルチモニタ環境
  - －Macintosh
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- Windows XP/2000のNTFSフォーマットは、標準インストール（お買い上げ時）でのみ使えます。
- Windows 2000の場合は、Service Pack3以降を導入してください。
- すべてのパソコンに対して、システムサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）などの動作を保証するものではありません。

次のページにつづく

インストールする

インストールの前に以下を確認します。

- 他のすべてのWindowsのプログラムを終了してください。特にウィルスチェックソフトは負荷が大きいため、必ず終了してください。
- 本機を使うときは、必ず付属のCD-ROMを使ってインストールしてください。
  - –すでにOpenMG Jukebox、SonicStageがインストールされている場合は、上書きインストールされます。それまでにお使いいただいていた機器の機能は引き継がれ、新たに必要な機能が追加されます。
  - –SonicStage Premium、SonicStage Simple Burner、MD Simple Burnerがインストールされている場合は、共存します。
  - –登録した音楽データは、そのまま引き継がれます。念のため、音楽データのバックアップをとることをおすすめします。バックアップについては、SonicStageのヘルプ「マイ ライブラリをバックアップする」をご覧ください。

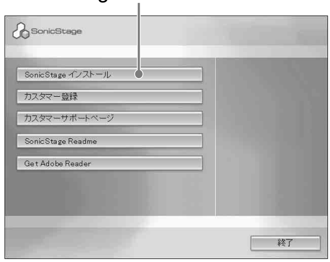
1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

2 パソコンのCDドライブに付属のCD-ROMを入れる。

インストーラが起動し、インストールガイドが表示されます。

3 「SonicStageインストール」をクリックし、画面の指示に従って操作する。

「SonicStageインストール」



注意事項をよくお読みください。お使いのパソコンの環境によっては、インストールに20～30分かかることがあります。
インストールが終わったら、必ずパソコンを再起動してください。
インストールできないときは、
☞48ページをご覧ください。

アンインストールするときのご注意

SonicStageをインストールすると、「OpenMG Secure Module」もインストールされます。「OpenMG Secure Module」は、他のソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

再生する前に

パソコンにインストールしたSonicStageを使って、あらかじめ以下のことを行ってください。

- パソコンに本機で聞きたい曲（音楽データ）を取り込む（☞右記）。
- パソコンから本機に音楽データを転送する（☞19ページ）。

再生できる音楽データについて

本機では、ATRAC3plus（アトラックスリープラス）/ATRAC3（アトラックスリー）フォーマットの音楽データを再生できます。

ATRAC3は、Adaptive（アダプティブ） Transform（トランスフォーム） Acoustic（アコースティック） Coding3（コーディングスリー）の略で、高音質と高圧縮を両立させた音声圧縮技術です。

ATRAC3plusは、ATRAC3を更に発展させ、音声データをCDの約20分の1（ビットレートが64kbpsのとき）に圧縮する音声圧縮技術です。

パソコンに音楽データを取り込む

音楽CDの曲をSonicStageのマイ ライブラリに取り込んで、録音します。

音楽CD以外に、インターネットやパソコン上の音楽ファイルも取り込めます。

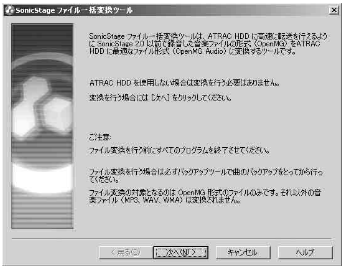
詳しくはSonicStageのヘルプをご覧ください（☞21ページ）。



次のページにつづく

1 **「スタート」−「すべてのプログラム」*−「SonicStage」−「SonicStage」の順にクリックする。**

SonicStageが起動します。
以前のバージョンのSonicStageをお使いになっていた場合、インストール後、初めてSonicStageを起動したときは、「SonicStageファイル一括変換ツール」**の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。



* Windows ME/2000/98SEでは「プログラム」

** 本機に高速で音楽データを転送できるように、SonicStage2.0以前で録音した音楽ファイルの形式（OpenMG）を、本機に最適な形式（OpenMG Audio）に変換するツールです。

---

2 **録音したい音楽CDを、パソコンのCDドライブに入れる。**

SonicStage画面左上の取り込み元選択リストに、「CDを録音する」と表示されます。

---

3 **SonicStage画面の「音楽を取り込む」をクリックする。**

音楽CDの曲が一覧で表示されます。

CD情報を自動で取得できなかったときは、画面右下の「CD情報取得」をクリックして、アルバム名やアーティスト名、タイトルなどを曲の一覧に取り込みます（インターネット接続が必要です）。

---

4 **必要に応じて、録音時のフォーマットとビットレートを変更する。**

SonicStage画面右側の「詳細設定」をクリックして、「CD録音フォーマットの設定」画面を表示します。
お買い上げ時の設定では、フォーマットはOpenMG Audio（ATRAC3plus）、ビットレートは64kbpsです。

---

5 **SonicStage画面の [→] をクリックする。**

録音が始まります。

録音を途中でやめるには

SonicStage画面の [■] をクリックする。

録音したくない曲があるときは

手順**5**の前に、SonicStage画面で、トラック番号をクリックして ☑ を外す。

ご注意

SonicStageで使える音楽CDは、COMPACT DISC DIGITAL AUDIO マークが入っているCDのみです。コピーコントロールCDでの動作保証はいたしません。

本機に音楽データを転送する

SonicStageのマイ ライブラリに録音した曲（音楽データ）を、ATRAC3plus/ATRAC3のフォーマットで本機に転送します。

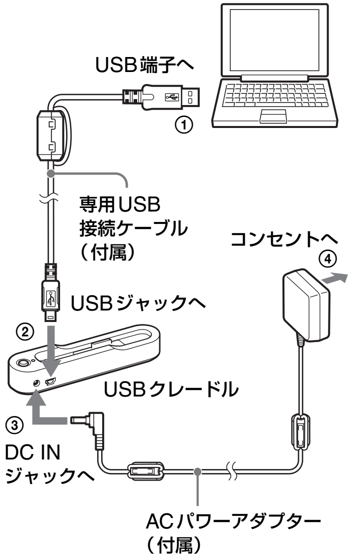
「音楽を転送する」「ATRAC HDD」



マイライブラリの一覧

1 USBクレードルをパソコンと電源に接続する。

専用USB接続ケーブル（付属）は、大きいほうの端子をパソコンのUSB端子に、小さいほうの端子をUSBクレードルに差し込みます。
ACパワーアダプター（付属）は、先にUSBクレードルのDC INジャックに差し込んでから、最後にコンセントに接続します。



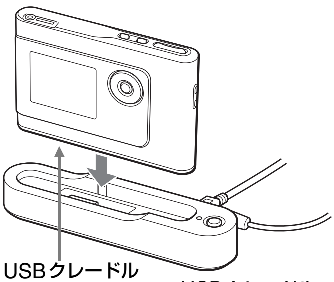
次のページにつづく

再生

2 **本体をUSBクレードルに取り付ける。**

イラストの矢印の向きに「カチッ」と音がするまで本体を差し込みます。
本体表示窓に「PC Connect」と表示されます。

SonicStage画面に「自動転送の設定」画面が表示され、自動転送ができます。画面の指示に従って操作してください。詳しくはSonicStageのヘルプをご覧ください（☞21ページ）。



3 **SonicStage画面右上の「音楽を転送する」をクリックする。**

本機に音楽データを転送する画面が表示されます。

4 **SonicStage画面右上の転送先選択リストで「ATRAC HDD」を選ぶ。**

5 **SonicStage画面左側（マイ ライブラリ側）の一覧で、転送したい曲をクリックして選ぶ。**

複数の曲を一度に転送する場合は、「Ctrl」キーを押しながら曲を選びます。
アルバム内の曲をまとめて転送する場合は、アルバムを選びます。

6 **SonicStage画面の**  **をクリックする。**

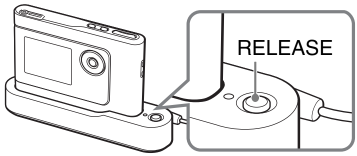
選んだ曲の転送が始まります。転送の状態は、SonicStage画面で確認できます。

転送を途中でやめるには

SonicStage画面の  をクリックする。

USBクレードルから本体を取り外すには

RELEASEを押す。



ご注意

- SonicStage画面でデータ転送中の表示が出ている間は、専用USB接続ケーブルを抜いたり、本体をUSBクレードルから外さないでください。転送中のデータが壊れることがあります。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしません。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本機での操作はできません。本機で再生中に、パソコンに接続したUSBクレードルに本体を取り付けると、再生が停止し、本体表示窓に「PC Connect」と表示されます。
- 本機の空き容量が転送しようとした曲の容量よりも少ない場合、転送できません。
- 転送中は、パソコンのサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）機能は働きません。
- SonicStageで入力した文字は、文字の種類や文字数によって、本機で表示できないことがあります。これは本機の制限によるものです。
- パソコンが起動した状態で本機をパソコンに接続したままにしたり、本機に大量のデータを転送した後は、本体が温かくなる場合がありますが故障ではありません。USBクレードルから外してしばらく放置しておくと常温に戻ります。

SonicStageのヘルプを使う

SonicStageのヘルプでは、SonicStageの使いかたについて詳しく説明しています。調べたいことがらを「音楽を取り込む」、「音楽を転送する」といった操作の目的から探したり、あらかじめ設定されている「キーワード」から探したりできます。
また、ヘルプ内の説明を思いついた単語で「検索」することもできます。

---

1 SonicStageを起動した状態で、「ヘルプ」から「SonicStageのヘルプ」をクリックする。

ヘルプが表示されます。
ヘルプでは、本機を「ATRAC HDD」として説明しています。

「SonicStageのヘルプ」

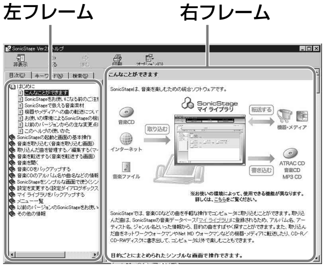


ご注意

- ヘルプでは、本機を「機器・メディア」と呼んでいます。
- 音楽配信サイトを利用するときは、プロバイダーが推奨する使用環境などの指示に従ってください。

次のページにつづく →

ヘルプの使いかたを見るには



1 左フレームの「 はじめに」をダブルクリックする。

2 「 このヘルプの使いかた」をクリックする。
右フレームに説明が表示されます。
必要に応じてスクロールしてください。
下線付きの用語をクリックすると、
その用語の説明にジャンプします。

思いついた用語を入力して調べるには



1 「検索」をクリックする。

2 キーワード入力欄に調べたい用語を入力する。

3 「検索開始」をクリックする。
入力した用語が含まれる項目の一覧が表示されます。

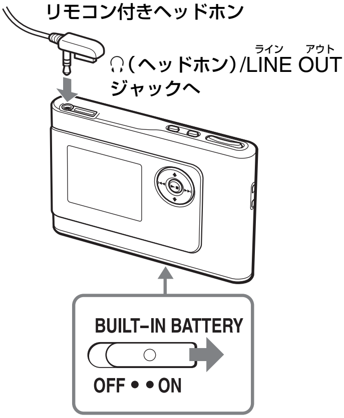
4 表示された項目から、内容を見たい項目をクリックする。

5 「表示」をクリックする。
選んだ項目の説明が表示されます。

再生する

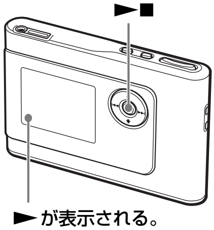
あらかじめ本機に音楽データを転送しておきます（☞19ページ）。
本体やリモコンの表示窓に表示されるメニューやメッセージなどの言語を変えることができます（☞34ページ）。

1 本体のBUILT-IN BATTERYスイッチをON（☞12ページ）にしてから、リモコン付きヘッドホンを本体に接続する。

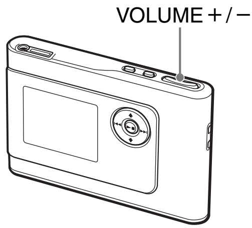


2 本体の►■を押す。

本体表示窓の左下に►が表示され、リモコン表示窓の（ディスク）が動画に変わり、再生が始まります。

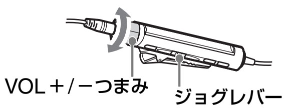


3 本体のVOLUME＋/－を押して音量を調節する。



リモコンで操作するときは

ジョグレバーを押して再生を始め、VOL＋/－つまみを回して音量を調節する。



ご注意

- 電池で使用しているときに、停止状態のまま約30秒間操作がないと、自動的に表示が消えます。また、曲名などがスクロール中のときは、スクロールが終了してから約30秒後に表示が消えます。
- ACパワーアダプターを接続しているときは、停止状態のまま約3分間操作がないと、自動的に表示が消えます。また、曲名などがスクロール中のときは、スクロールが終了してから約3分後に表示が消えます。
- 再生が始まらないときは、HOLD（誤操作防止）スイッチが解除されているのを確認してください（☞24ページ）。

次のページにつづく ⟶

誤操作を防ぐ（HOLD機能）

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押され、誤操作するのを防ぎます。HOLD機能が働いているときは、操作しても本体表示窓に「HOLDがかかっています」と表示され、操作が無効になります。

1 本体またはリモコンのHOLDスイッチを矢印の方向にスライドする。

本体とリモコン別々に、誤操作防止状態（HOLD）にできます。例えば、本体をHOLDにしても、リモコンをHOLDにしなければ、リモコンで操作できます。

HOLDを解除するには

本体またはリモコンのHOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドする。

ご注意

HOLDが働いていても、リモコンの表示窓に「HOLDがかかっています」とは表示されません。

再生の基本操作一覧（再生、停止、頭出しなど）

こんなときは	本体操作。（　）内はリモコン操作。
続きから再生する	►■を押す。前回再生を止めたところから始まる。 （ジョグレバーを押す。）
一時停止する/一時停止を解除する	本体では操作できません。 （ジョグレバーを押す。）
再生を止める	►■を押す。 （■を押す。）
今聞いている曲を頭出しする	⏮を1度押す。 （ジョグレバーを⏮側に1度動かす。）
前の曲、更に前の曲を頭出しする*	⏮を繰り返し押す。 （ジョグレバーを⏮側に繰り返し動かす。）
次の曲を頭出しする*	⏭を1度押す。 （ジョグレバーを⏭側に1度動かす。）
更に先の曲を頭出しする*	⏭を繰り返し押す。 （ジョグレバーを⏭側に繰り返し動かす。）
早戻しする	⏮を押したままにする。 （ジョグレバーを⏮側に動かしたままにする。）
早送りする	⏭を押したままにする。 （ジョグレバーを⏭側に動かしたままにする。）
一覧画面（☞29ページ）で選んだ次のアルバムやグループなどの最初の曲を頭出しする	本体では操作できません。 （🗀＋を押す。）
一覧画面（☞29ページ）で選んだ前のアルバムやグループなどの最初の曲を頭出しする	本体では操作できません。 （🗀－を押す。）

* Play Mode（☞32ページ）がシャッフル再生、プレイユニットシャッフル再生の場合は、動きが異なります。

電源を切るには

表示が消えるまで本体のMENU、またはリモコンの■を押したままにする。

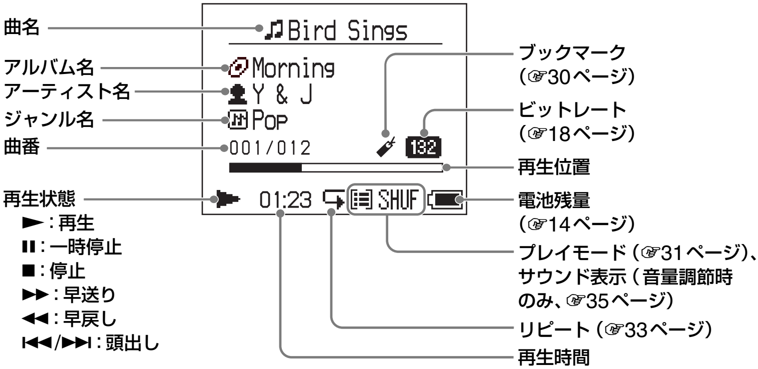
電源を入れるには、いずれかのボタンを押す。

次のページにつづく ⟶

表示窓の情報を確認する

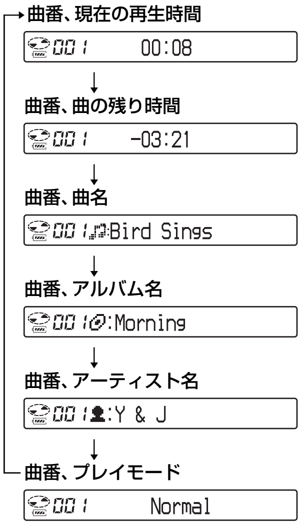
再生中に本体とリモコンの表示窓で、音楽データや再生状態の詳しい情報を確認できます。

再生中の本体表示窓



再生中のリモコン表示窓

リモコンのDISPLAY（ディスプレイ）を繰り返し押す。



ご注意

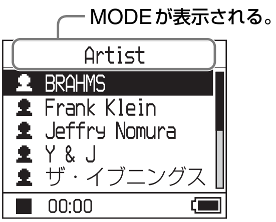
付属のリモコンで表示できる文字は、半角英数字、漢字、ひらがな、全角カタカナです。

選んで再生する（アーティスト、アルバム、ジャンル、グループなど）

「Artist（アーティスト）」や「Album（アルバム）」など（MODE（モード）と呼ぶ）で検索して、聞きたい曲を選べます。MODEには5種類あります。ここでは、「Artist」MODEを選んで再生するときの画面を使って説明します。
各MODEと表示される画面について詳しくは、☞29ページをご覧ください。
選んだ曲やアルバムなどで、リピート再生（☞33ページ）やシャッフル再生（☞32ページ）もできます。

1 本体のMODEを繰り返し押して、検索するMODEを選ぶ。

押すたびにMODEが以下のように切り換わります。
Artist（アーティスト）（👤）→ Album（アルバム）（💿）→ Genre（ジャンル）（🎼）→ Group（グループ）（🗀）→ Others（アザーズ）→ Artistに戻る



2 本体の⬆/⬇で再生したい項目を選ぶ。

ここで再生を始めたいときは、►■を押します。
選んだアーティストの最初のアルバムの1曲目から順に再生し、その後に続く全アーティストのアルバムの全曲を再生します。

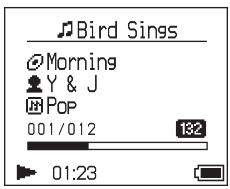


3 更に細かく検索するには、本体の►►|を押す。



4 本体の⬆/⬇で再生したい項目を選び、►■を押す。

選んだ曲や項目（アルバム、アーティストなど）の1曲目から順に再生し、その後に続く全曲を再生します。



次のページにつづく

再生を始めた画面に戻るには

本体のMODEを押したままにする。

MODEを選ぶ画面に戻るには

本体のMODEを押す。

曲一覧の画面に戻るには

本体の⬆または⬇を押す。

MODE画面や一覧画面で再生を止めるには

本体の►■を押したままにする。

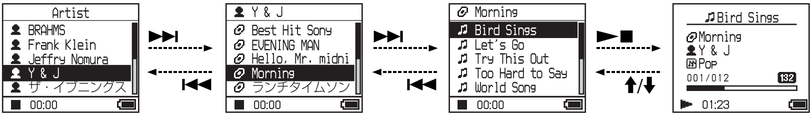
MODE画面や一覧画面に戻った後、再び再生中の画面に戻るには

本体のMODEを押したままにする。

MODE画面一覧

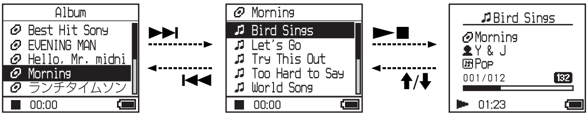
各MODEで表示される画面が異なります。
どの画面からでも、本体の►■（リモコンではジョグレバー）を押すと、再生が始まります。

Artist



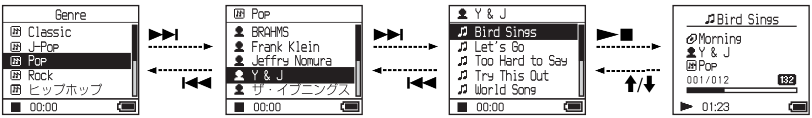
アーティスト一覧　選んだアーティストのアルバム一覧　選んだアルバムの曲一覧　再生中

Album



アルバム一覧　選んだアルバムの曲一覧　再生中

Genre



ジャンル一覧　選んだジャンルのアーティスト一覧　選んだアーティストの曲一覧　再生中

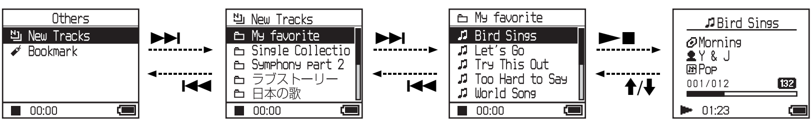
Group：SonicStageで作成したグループ別に再生する。



グループ一覧　選んだグループの曲一覧　再生中

Others

- 「New Tracks」：新しく転送された（最近5回）グループに含まれる曲
- 「Bookmark」：ブックマークを付けた曲（設定方法は☞30ページ）



グループ一覧（New Tracks）/曲一覧（Bookmark）　選んだグループの曲一覧（New Tracks）　再生中

次のページにつづく

ブックマークを付ける（ブックマークトラック再生）

聞きたい曲にブックマークを付けることができます。ブックマークを付けた曲は、MODEで「Others」を選んで再生します（☞27ページ）。

1 **ブックマークを付けたい曲の再生または一時停止中に、本体の🡅または🡇を押したままにする。**

ブックマーク数（登録数/登録可能数）が表示され、🖋（ブックマーク）が点灯します。

2 **複数の曲にブックマークを付けたいときは、手順1を繰り返す。**

ブックマークは、100曲まで付けられます。

リモコンで操作するときは

ブックマークを付けたい曲の再生または一時停止中に、ジョグレバーを押したままにする。

ブックマークを付けた曲を再生するには

1 本体のMODEを繰り返し押して、Others MODEを選ぶ。

2 本体の🡅/🡇で「Bookmark」を選び、▶▶I を押す。
ブックマークを付けたすべての曲を再生するときは、ここで▶■を押します。

3 本体の🡅/🡇で聞きたい曲を選び、▶■を押す。

ブックマークを消すには

ブックマークを消したい曲の再生または一時停止中に、本体の🡅または🡇を押したままにする。
「Off」と表示され、🖋が消えます。
（リモコンでは、ブックマークを消したい曲の再生または一時停止中に、ジョグレバーを押したままにする。）

ご注意

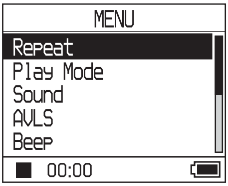
停止中はブックマークを付けられないだけでなく、消すこともできません。

再生方法（Play Mode）を変えて再生する

好きな曲だけを聞いたり、曲を順不同に聞くことができます。
再生方法（Play Mode）について詳しくは、☞32ページをご覧ください。
また、選んだ再生方法を繰り返して聞くこともできます（リピート再生、☞33ページ）。

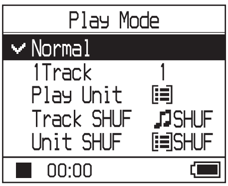
1 本体のMENUを押す。

MENU画面が表示されます。



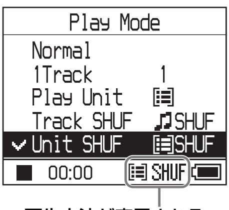
2 本体の↑/↓で「Play Mode」を選び、►■を押して決定する。

Play Mode画面が表示されます。



3 本体の↑/↓で再生方法を選び、►■を押して決定する。

初期設定は「Normal」（通常再生）です。



再生方法が表示される。

4 MENUを2回押して再生画面を表示し、►■を押す。

選んだ再生方法で再生が始まります。

リモコンで操作するときは

P MODE/⮌を繰り返し押す。
押すたびに、再生方法が切り換わります。

再生方法



操作を途中でやめるには

本体のMENUを押すと、MENU画面に戻る。
本体のMODEを押したままにする、またはMENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。
（リモコンでは、「Normal」と表示されるまで、P MODE/⮌を繰り返し押す。）

通常再生に戻るには

手順**3**で、「Normal」を選ぶ。（リモコンでは、「Normal」と表示されるまで、P MODE/⮌を繰り返し押す。）

MODEを選ぶ画面に戻るには

本体のMODEを押す。

次のページにつづく ⟶

Play Mode項目一覧

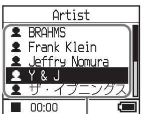
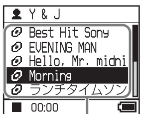
再生するMODE（☞27ページ）によって、曲の再生範囲（プレイユニット、☞下記）が変わります。

本体 / 本体のアイコン / リモコンの表示	説明
Normal/表示なし/表示なし （通常再生）	選んだ曲の後に続くすべての曲を、順に1回再生します。 曲以外（アルバムやアーティストなど）を選んだときは、最初の曲やアルバムの1曲目から順に1回再生します。
1Track/1/1 （1曲再生）	選んだ曲だけを、1回再生します。 曲以外（アルバムやアーティストなど）を選んだときは、最初の曲だけを、1回再生します。
Play Unit/▤/表示なし （プレイユニット再生）	プレイユニット内の全曲を、順に1回再生します。
Track SHUF/♫ SHUF/SHUF （シャッフル再生）	プレイユニット内の全曲を、順不同に1回再生します。
Unit SHUF/▤ SHUF/SHUF （プレイユニットシャッフル再生）	プレイユニット内の全曲を、曲やアルバム、アーティストなどの項目ごとに順不同に1回再生します。

プレイユニットとは

再生を始めたときに一覧に属しているすべての項目（アーティスト、アルバム、曲など）を、「プレイユニット」と呼びます。

例：アーティスト MODE を選んだときのプレイユニット

アーティスト一覧	アルバム一覧	曲一覧
		
全アーティストの全曲がプレイユニットになる。	アーティスト「Y & J」の全アルバムの全曲がプレイユニットになる。	アーティスト「Y & J」のアルバム「Morning」の全曲がプレイユニットになる。
プレイユニット再生をすると		
• 「Y & J」の曲から順に再生し、「Jeffry Nomura」の全曲を再生して止まる。	• アルバム「Morning」の曲を順に再生し、「Hello, Mr. midnight」の全曲を再生して止まる。	• アルバム「Morning」の曲を順に全曲再生して止まる。
プレイユニットシャッフル再生をすると		
• アーティストごとに順不同に1回再生する。アーティスト内のアルバムや曲は順に再生する。	• アルバムごとに順不同に1回再生する。アルバム内の曲は順に再生する。	• アルバム「Morning」の曲を順不同に1回再生する。

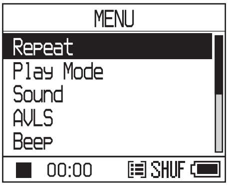
繰り返し聞く（Repeat）

☞31ページで選んだ再生方法を繰り返して再生します。

1 **繰り返したい再生方法を選ぶ（☞31ページ）。**

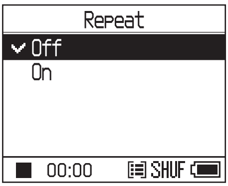
2 **本体のMENUを押す。**

MENU画面が表示されます。

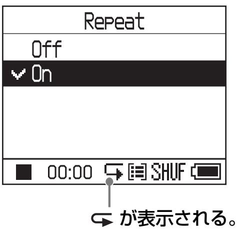


3 **本体の↑/↓で「Repeat」を選び、►■を押して決定する。**

Repeat画面が表示されます。



4 **本体の↓で「On」を選び、►■を押して決定する。**

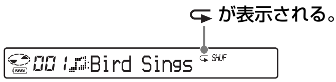


5 **本体のMENUを2回押して再生画面を表示し、►■を押す。**

選んだ再生方法が繰り返されます。

リモコンで操作するときは

↻（リピート）が点灯するまで、
P MODE/↻を押したままにする。



全曲を繰り返し聞くには

「Others」以外のいずれかのMODEを選んでから、手順**1**～**5**を行う。

操作を途中でやめるには

本体のMENUを押すと、MENU画面に戻る。
本体のMODEを押したままにする、またはMENU画面でMENUを押すと、手順**2**の前の画面に戻る。
（リモコンでは、↻ の表示が消えるまで、P MODE/↻を押したままにする。）

通常再生に戻るには

手順**4**のRepeat画面で「Off」を選ぶ。
（リモコンでは、↻ が消えるまで、P MODE/↻を押したままにする。）

MODEを選ぶ画面に戻るには

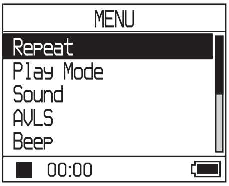
本体のMODEを押す。

音質や表示の設定を変える

設定項目と内容について詳しくは、☞35ページをご覧ください。

1 本体のMENUを押す。

MENU画面が表示されます。



2 本体の↑/↓で項目を選び、►■を押して決定する。

選んだ項目の画面が表示されます。

3 本体の↑/↓で設定内容を選び、►■を押して決定する。

音質を変えるときは（Sound（サウンド））

手順**3**の後、本体の↑/↓で設定内容を選び、►■を押して決定する。（リモコンでは、ジョグレバーを動かして設定内容を選び、押して決定する。）

「Custom1（カスタム）」または「Custom2（カスタム）」を選んだときは、音域ごとに更に細かく設定できます（☞37ページ）。

リモコンで操作するときは

Soundのみ設定できます。

1 SOUNDを繰り返し押して「V-SUR（バーチャルサラウンド）」または「Sound EQ（サウンド イコライザー）」を選び、表示が変わるまでSOUNDを押したままにする。

2 ジョグレバーを動かして設定内容を選び、押して決定する。
選んだ設定内容は、表示窓の右側に表示されます。

前の画面に戻るには

本体の⏮を押す。（リモコンでは、■を押す。）

操作を途中でやめるには

本体のMENUを押すと、MENU画面に戻る。
本体のMODEを押したままにする、またはMENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。
（リモコンでは、■を押す。）

MODEを選ぶ画面に戻るには

本体のMODEを押す。

設定項目一覧

Sound以外は、本体でのみ設定可能です。

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）		
Sound（音質設定）	● Off		通常の音質。
	V-SUR [1]	Studio（VS/S）	録音スタジオで聞いているような音質。
		Live（VL/L）	ライブハウスで聞いているような音質。
		Club（VC/C）	クラブで聞いているような音質。
		Arena（VA/A）	アリーナ会場で聞いているような音質。
	Sound EQ [1]	Heavy（SH/H）	低域と高域を最も強調した迫力のある音質。
		Pops（SP/P）	低域と高域を強調したメリハリのある音質。
		Jazz（SJ/J）	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質。
		Unique（SU/U）	低域と高域を強調し中域もある程度強調した音質。
		Custom1（S1/1）	自分で設定した音質（設定方法は☞37ページ）。
		Custom2（S2/2）	自分で設定した音質（設定方法は☞37ページ）。
AVLS [2]（快適音量）	On		音もれや耳への圧迫感軽減のため、一定以上に音量が上がりません。
	● Off		音量の制限無しで、操作に合わせて音量が変わります。
Beep（確認音）	● On		操作時の確認音（ピッなど）が鳴ります。
	Off		確認音は鳴りません。
Audio Out（外部出力音声）	● Headphone		付属のヘッドホンを接続しているときに選びます。
	Line Out		スピーカーなどの他機を音声コードで接続しているときに選びます（☞39ページ）。
Contrast [3]（本体表示窓明暗調整）	● 右から2つ目		適度な明るさで表示します。
	－～＋		－に設定すると薄く、＋に設定すると濃く表示します。

1）「V-SUR」または「Sound EQ」設定時は、設定内容が表示されます（☞11ページ）。
（ ）内が、本体/リモコンの表示です。

2）Automatic（オートマチック） Volume（ボリューム） Limiter（リミッター） System（システム）の略です。

3）この設定は、リモコンには無効です。

再生

次のページにつづく

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）	
Backlight * （表示窓のランプ点灯）	● Auto	操作直後に約10秒間点灯します。また、表示をスクロールしている間点灯します。
	10秒	操作直後に約10秒間点灯します。また、表示がスクロール中でも、10秒を過ぎると消灯します。
	30秒	操作直後に約30秒間点灯します。また、表示がスクロール中でも、30秒を過ぎると消灯します。
	Off	リモコンも本体も消灯し、電池の消耗を極力抑えます。
Reverse Display ** （反転表示）	● Positive	文字やアイコンは黒、背景色は白で表示します。
	Negative	文字やアイコンは白、背景色は黒で表示します。
Language （表示言語）	● 日本語	日本語で表示します。
	English	英語で表示します。
	Français	フランス語で表示します。
	Deutsch	ドイツ語で表示します。
	Italiano	イタリア語で表示します。
	Español	スペイン語で表示します。

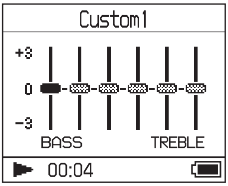
* リモコンの「Backlight」は、本体で「10秒」または「30秒」に設定しても、「Auto」に設定したときと同じ動作になります。

** この設定は、リモコンには無効です。

好みの音質に細かく設定する（Custom）

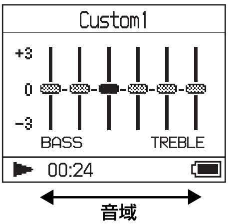
本体またはリモコンの表示窓を見ながら、音域ごとに更に細かく音質を調節できます。

1 「音質や表示の設定を変える」の手順2（☞34ページ）で「Sound」を選んだ後、「Sound EQ」の「Custom1」または「Custom2」を選ぶ。



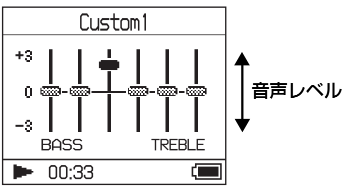
2 本体の⏮/⏭で音域を選ぶ。

6つの音域があります。



3 本体の⬆/⬇で音声レベルを選ぶ。

7段階の中から選びます。



4 手順2と3を繰り返して残りの音域の設定を行う。

5 本体の►■を押して決定する。

MENU画面に戻ります。

リモコンで操作するときは

1. SOUNDを繰り返し押して「Sound」を選び、表示が変わるまでSOUNDを押したままにする。
2. ジョグレバーを動かして「Custom1」または「Custom2」を選び、押して決定する。
   「1」と「2」はSOUNDの右側に表示されます。
3. 🗀＋/−ボタンまたはVOL＋/−つまみを回して音声レベルを選び、ジョグレバーを動かして調整する音域（点滅している部分）を選ぶ。
4. 手順**2**と**3**を繰り返して残りの音域の設定を行い、ジョグレバーを押して決定する。

操作を途中でやめるには

本体のMENUを押すと、MENU画面に戻る。

本体のMODEを押したままにする、またはMENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。

（リモコンでは、■を押す。）

MODEを選ぶ画面に戻るには

本体のMODEを押す。

ご注意

- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「Custom1」または「Custom2」を選んだときとそれ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。

転送した曲をパソコンに戻す

音楽データをSonicStageのマイ ライブラリに戻します。



1 本機をパソコンに接続する（「本機に音楽データを転送する」の手順**1**と**2**、☞19ページ）。

2 SonicStage画面右上の「音楽を転送する」をクリックする。

SonicStageに音楽データを転送する画面が表示されます。

3 SonicStage画面右上の転送元選択リストで「ATRAC HDD」を選ぶ。

4 SonicStage画面右側（本機）の一覧で、マイ ライブラリに戻したい曲をクリックして選ぶ。

複数の曲を一度に転送する場合は、「Ctrl」キーを押しながら曲を選びます。アルバム内の曲をまとめて転送する場合は、アルバムを選びます。

5 SonicStage画面の [←] をクリックする。

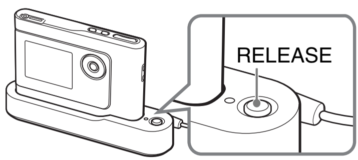
手順**4**で選んだ曲の転送が始まります。転送の状態は、SonicStage画面で確認できます。

転送を途中でやめるには

SonicStage画面の [■] をクリックする。

USBクレードルから本体を取り外すには

RELEASEを押す。

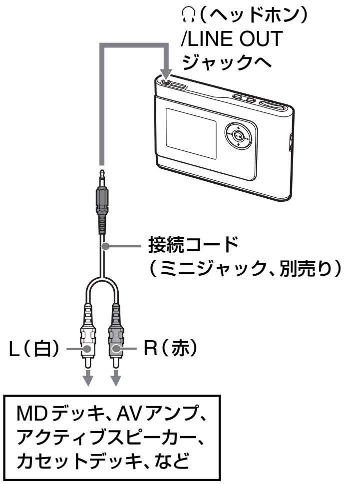


ご注意

- パソコンから本機に転送した曲は、同じパソコンにしか戻すことができません。
- SonicStage画面でデータ転送中の表示がでている間は、専用USB接続ケーブルを抜いたり、本体をUSBクレードルから外さないでください。転送中のデータが壊れることがあります。

他の機器に接続する

他のステレオ機器に接続して曲を聞いたり、本機で再生した曲をMDやテープに録音できます。接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
接続する機器の電源を必ず切ってから、以下のように接続、設定してください。



接続した機器に音声が出力されるように、MENU画面で「Audio Out」の設定を必ず変更してください。「Audio Out」の設定は以下のとおりです。設定方法は、☞34ページをご覧ください。

接続機器	設定
ヘッドホン	Headphone
接続コードで接続した機器	Line Out

他機に接続したときは、「Line Out」に設定します。「Line Out」に設定すると、音量調節と「Sound」の設定はできないだけでなく、働きません。

ご注意

- リモコンを接続しないで、ヘッドホンを直接本機に接続して聞いているときに、「Line Out」に切り換えないでください。音量調節ができなくなり、ひずんだ大きな音が出ます。
- 付属のリモコン付きヘッドホンを接続しているときは、🎧（ヘッドホン）/LINE OUT出力の設定（「Audio Out」）を「Line Out」にすることはできません。
- 曲を聞く前に、接続した機器の音量を下げてください。音がひずんだり、思わぬ大音量が出てスピーカーが破損するおそれがあります。

音楽以外のデータを保存する

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスク内のデータを、本機の内蔵ハードディスクに転送できます。Windowsのエクスプローラのリムーバブルディスクとして、本機の内蔵ハードディスクが表示されます。

ご注意

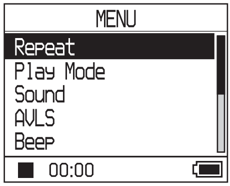
- Windowsのエクスプローラを使って本機内蔵ハードディスクを操作している間、SonicStageは使わないでください。
- エクスプローラを使ってWAVやMP3などのファイルを転送しても本機では再生できません。SonicStageを使って、ATRAC3plusまたはATRAC3ファイル形式で転送してください。
- データへのアクセス中は、専用USB接続ケーブルを抜かないでください。データを転送中に専用USB接続ケーブルを抜くと、転送中のデータが壊れることがあります。
- パソコンで本機のハードディスクを初期化しないでください。

お買い上げ時の設定に戻す

設定項目の内容をお買い上げ時の設定に戻します。

1 停止中に、本体のMENUを押す。

MENU画面が表示されます。



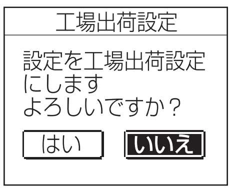
2 本体の↑/↓で「Format（フォーマット）」を選び、►■を押して決定する。

Format画面が表示されます。



3 「工場出荷設定」が選ばれているので、本体の►■を押して決定する。

工場出荷設定画面が表示されます。



4 **本体の⏮で「はい」を選び、►■を押して決定する。**

「設定を工場出荷設定にしました」と表示され、Format画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

手順**4**で「いいえ」を選び、本体の►■を押すと、Format画面に戻る。
MENUを押すと、MENU画面に戻る。
本体のMODEを押したままにする、またはMENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。

MODEを選ぶ画面に戻るには

本体のMODEを押す。

ご注意

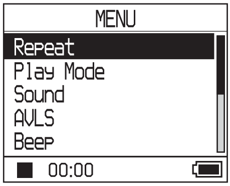
- 再生中は、お買い上げ時の設定に戻すことはできません。
- リモコンでは、操作できません。

初期化する

内蔵ハードディスクを初期化できます。初期化すると、記録された音楽やデータはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。
本機を転送元のパソコンに接続すると、初期化により消した曲は、SonicStageで曲を戻したとみなされ、残りの転送回数が増えます。

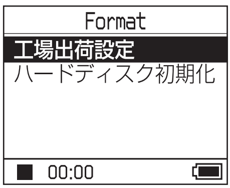
1 **停止中に、本体のMENUを押す。**

MENU画面が表示されます。



2 **本体の↑/↓で「Format」を選び、►■を押して決定する。**

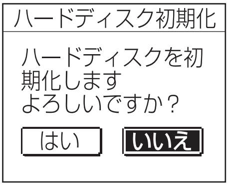
Format画面が表示されます。



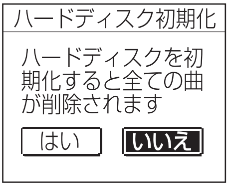
次のページにつづく ⟶

3 **本体の⬇で「ハードディスク初期化」を選び、►■を押して決定する。**

ハードディスク初期化画面が表示されます。



4 **本体の⏮で「はい」を選び、►■を押して決定する。**



5 **本体の⏮で「はい」を選び、►■を押して決定する。**

「ハードディスクを初期化しました」と表示され、Format画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

手順**5**で「いいえ」を選び、本体の►■を押すと、Format画面に戻る。
MENUを押すと、MENU画面に戻る。
本体のMODEを押したままにする、またはMENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。

MODEを選ぶ画面に戻るには

本体のMODEを押す。

ご注意

- パソコンで本機のハードディスクを初期化しないでください。
- 再生中は初期化できません。
- リモコンでは、操作できません。
- 初期化すると、音楽データや音楽以外のファイルがすべて削除されます。

本機を廃棄するときのご注意

環境保護のため、内蔵の充電式電池を取り出してください。

⚠警告

本機を廃棄するとき以外は、絶対にネジを外さないでください。

⚠注意

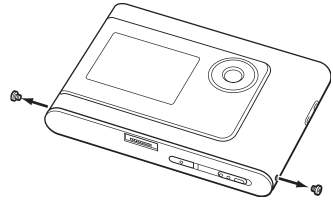
内蔵充電式電池は、完全に消耗した状態を確認してから取り出してください。

内部の金属部分（取り付け板など）の取り扱いには充分ご注意ください。

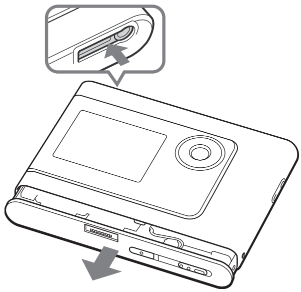
内蔵充電式電池の取り出しかた

1 本体底面のBUILT-IN BATTERYスイッチをOFFにする。

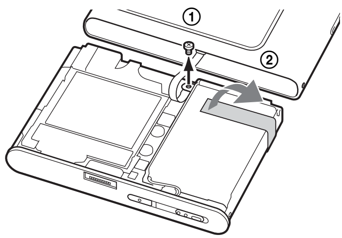
2 本体両側面にある2本のネジを外す。



3 🎧（ヘッドホン）/LINE OUTジャックを指で本体底面の方向に押し込んで、本体の中身を矢印の方向に引き出す。

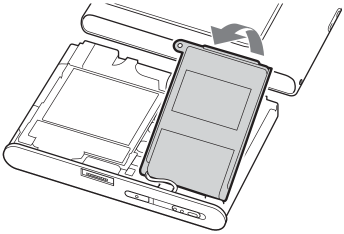


4 電池の横にある1本のネジを外し、電池を止めているテープを剥がす。

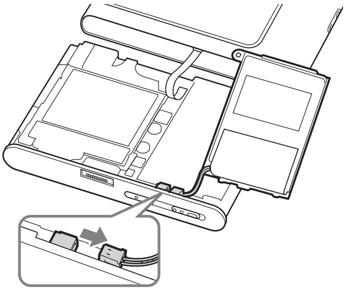


次のページにつづく ⟹

5 電池を本体から外す。



6 本体と電池を接続しているコードを引き抜き、接続部を外して電池を取り出す。



故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、もう1度以下の流れにしたがって、問題をチェックしてください。

1 本体底面のBUILT-IN BATTERYスイッチをOFFにして、再びONにする。
OFFにしても音楽データは失われません。

2 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

3 「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページ
http://www.sony.co.jp/support-pa/で調べる。

4 手順**1**～**3**を確認しても問題が解決しないときは、お客様ご相談センター（☞裏表紙）またはお買い上げ店に相談する。

電源

症状	原因 / 処置
CHGランプが点灯しない。	→ USBクレードルの充電用端子が汚れている。乾いた柔らかい布などで充電用端子を拭く。 → USBクレードルに本体を正しく置いていない。USBクレードルに「カチッ」と音がするまで本体を差し込み、CHGランプが点灯するのを確認する（☞12ページ）。
CHGランプが点滅する。	→ 充電可能温度範囲（5～35℃）外で充電しようとした。5～35℃の温度範囲で充電する。
電池の持続時間が短い。	→ 5℃以下の環境で使用している。電池の特性によるもので故障ではありません。 → 長期間使用していなかった。何回か充放電を行うと、電池性能が回復する。 → 充電式電池の交換が必要。ソニーサービス窓口に問い合わせる。 → 充電時間が短い。電池を保護するため、最初の15分間は電池状態のチェックを行い、その後急速充電をする。CHGランプが消えて充電が完了するまで、充電をする。

次のページにつづく

音声

症状	原因 / 処置
再生音が出ない。 雑音が入る。	➔ 音量がゼロになっている。音量を上げる（☞23ページ）。 ➔ ヘッドホンがしっかり差し込まれていない。🎧（ヘッドホン）/LINE OUTジャックにしっかり差し込む（☞23ページ）。 ➔ ヘッドホンのプラグが汚れている。乾いた柔らかい布などでプラグの汚れを拭く。 ➔ 曲が入っていない。
再生音が大きくならない。	➔「AVLS」が「On」に設定されている。「AVLS」を「Off」に設定する（☞35ページ）。
右チャンネルから音が出ない。	➔ ヘッドホンがしっかり差し込まれていない。🎧（ヘッドホン）/LINE OUTジャックにしっかり差し込む（☞23ページ）。
音量を調節できない。	➔「Audio Out」が「Line Out」に設定されている。接続した機器側で音量を調節する。または「Audio Out」を「Headphone」に設定する（☞35ページ）。
接続したステレオ機器で、音がひずんだり雑音が聞こえる。	➔「Audio Out」が「Headphone」に設定されている。「Audio Out」を「Line Out」に設定する（☞35ページ）。

操作/再生

症状	原因 / 処置
ボタン操作に反応しない。	→ HOLDになっている（誤操作防止状態）。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドして、HOLDを解除する（☞24ページ）。 → 結露している。そのまま約2、3時間おく。 → 電池の残量が少ない。充電をする（☞12ページ）。 → パソコンに接続し、更にパソコンが起動している場合、USBクレードルの上に置いているときは本体の操作はできない。USBクレードルから外して操作する（☞13ページ）。
再生していたら急に音が止まった。	→ 電池が消耗している。充電をする（☞12ページ）。
表示窓のバックライトがつかない。	→ 「Backlight」が「Off」に設定されている。「Backlight」を「Auto」「10秒」「30秒」のいずれかに設定する（☞36ページ）。
タイトル欄に「□」と表示される。	→ 本機で表示できない文字が使用されている。付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換える。
リモコンで正常な操作ができない。	→ 本体の操作ボタンが誤って押されたままになっている。 → リモコン付きヘッドホンが本体にしっかり接続されていない。
表示が消える。	→ 停止状態のまま電池使用時は約30秒間、ACパワーアダプター使用時は約3分間操作がないと、自動的に表示が消える。また、曲名などがスクロール中のときは、スクロールが終了してから電池使用時は約30秒後、ACパワーアダプター使用時は約3分後に表示が消える。更に、MENUを押したままにすると表示が消える。いずれの場合も、操作ボタンを押すと再び表示される。

次のページにつづく

パソコンとの接続/SonicStage

症状	原因/処置
インストールできない。	→ 対応のOS以外のOSを使っている（☞15ページ）。 → すべてのWindowsのプログラムを終了していない。他のプログラムが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがある。特にウィルスチェックソフトは負担が大きいため、必ず終了する。 → ハードディスクの空き容量が足りない。ハードディスクの空き容量は200MB以上必要のため、不要なファイルなどを削除する。
インストール作業が止まっているように見える。	→ 警告などのメッセージダイアログが、インストール画面の後ろに隠れている。「Alt」キーを押しながら「Tab」キーを押し、メッセージが表示されたら画面に従って操作する。メッセージが表示されないときは、インストール作業中のため、そのまま待つ。
画面上のバーが動いていない。または、CDドライブやハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない。	→ インストール作業は正常に行われているため、そのまま待つ。お使いのパソコン、CDドライブによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合がある。
専用USB接続ケーブルでパソコンに接続しても、本機の表示窓に「PC Connect」と表示されない。	→ SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合がある。しばらく待つ。 → パソコン上で他のアプリケーションが起動している。しばらくしてから、専用USB接続ケーブルを接続し直す。それでも解決しない場合は、ケーブルを抜いてからパソコンを再起動する。 → 専用USBケーブルがきちんと差し込まれていない。専用USBケーブルをいったん抜いて、差し直す。 → USBハブを使用している。動作保証外のため、パソコンのUSB端子に接続する。
パソコンに接続したとき、本体がパソコンに認識されない。	→ USBクレードルに本体を正しく置いていない。USBクレードルに「カチッ」と音がするまで本体を差し込む（☞20ページ）。 → 専用USBケーブルがきちんと差し込まれていない。専用USBケーブルをいったん抜いて、差し直す。 → USBハブを使用している。動作保証外のため、パソコンのUSB端子に接続する。 → 本機用のドライバをインストールしていない。付属のCD-ROMを使って、もう1度SonicStageをパソコンにインストールすると、ドライバもインストールされる（☞16ページ）。 → ソフトウェアのインストールに失敗している。本機とパソコンの接続を外し、付属のCD-ROMを使ってもう1度ソフトウェアをインストールする（☞16ページ）。

症状	原因 / 処置
転送できない。	➔ 専用USBケーブルがきちんと差し込まれていない。専用USBケーブルをいったん抜いて、差し直す。 ➔ 1つの曲をすでに3回転送している。1度転送した曲をパソコンに戻すと（☞38ページ）、再び転送できるようになる。 ➔ 本体内の空き容量が不足している。聞かなくなった曲をパソコンに戻して（☞38ページ）、空き容量を増やす。 ➔ 本機に65,535曲を超える曲数、または8,192グループを超えるグループ数を転送しようとしている。または1グループにつき999曲を超える曲数を転送しようとしている。 ➔ 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できないことがある。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者に問い合わせる。
転送できる曲数が少ない。（録音できる時間が短い。）	➔ 本体内の空き容量が不足している。聞かなくなった曲をパソコンに戻して（☞38ページ）、空き容量を増やす。 ➔ 本機に音楽以外のデータが入っていると、転送できる曲数が減る。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、本体内の空き容量を増やす。
パソコンに戻せない。	➔ 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている。転送元のパソコン以外には、曲を戻せない。 ➔ 転送元のパソコンで曲を削除した。パソコン側の転送元の曲を削除した場合は、曲を戻せない。
本機をパソコンに接続すると勝手に曲の転送回数が戻ることがある。	➔ SonicStageソフトウェアをインストールした他のパソコンで本機の曲を削除した場合、自分のパソコンに本機を接続すると、SonicStageは削除された曲を戻したものと自動的にみなし、残りの転送回数を元に戻す。
パソコン接続中の動作が安定しない。	➔ USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している。動作保証外のため、付属の専用USBケーブルのみで直接パソコンと接続する。
パソコンと接続中にパソコンの画面に「機器・メディアの認証処理に失敗しました。」と表示される。	➔ パソコンと本機が正しく接続されていない。SonicStageを終了し、専用USBケーブルでの接続を確認した後、再びSonicStageを起動しする。

その他

症状	原因 / 処置
操作時の確認音が鳴らない。	➔「Beep」が「Off」に設定されている。「Beep」を「On」に設定する（☞35ページ）。
本体やUSBクレードルが温かくなる。	➔ 充電中、充電直後である。急速充電のため、充電中および充電直後は本体やUSBクレードルが一時的に温かくなることがある。また、大量の曲を転送した場合も、本体やUSBクレードルが一時的に温かくなることがある。しばらく放置する。
本体から「キーン」という音がする。または、本体が震えることがある。	➔ 本体内蔵ハードディスクの動作時の音または振動で、故障ではありません。

メッセージ一覧

本体表示窓にエラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてください。

表示	意味	処置
グループ数制限を超えました	グループ（アルバムやアーティスト）の数が制限数（8,192）を超えた。	→ 一覧画面（曲一覧を除く）での合計項目数が8,192を超えている。MODEを確認し、不要な音楽データをSonicStageのマイ ライブラリに戻す（☞38ページ）。
再生できません 再生可能期間外です	• 再生期限開始前に再生しようとした。 • 再生期限が切れた後に再生しようとした。	→ 再生期限外の曲は再生できない。
再生できません トラックエラーです	音楽データが壊れている。	→ 本機に音楽データを転送し直す（☞19ページ）。
再生できません PCに接続してください	本機の時刻設定が無効になっている。	→ パソコンに接続する（☞19ページ）。
再生を停止しないと操作できません	再生中に「MENU」の「Format」を選んだ。	→ 再生を停止してから、「Format」を選び直す。
システムエラーです <No.***> （***には番号が表示されます。）	システムエラーが発生した。	→ エラー番号をメモして、お客様ご相談センター（☞裏表紙）またはお買い上げ店に相談する。
システムファイルに不整合があります	システムファイルに不整合がある。	→ ハードディスクを初期化し（☞41ページ）、本機に音楽データを転送しなおす（☞19ページ）。
停止中は操作できません	停止中にブックマークを設定しようとした。	→ 再生中に設定する（☞30ページ）。
データベースがありません	パソコン接続終了時に本機に曲がない、またはすべてのMODEの情報が揃っていない。	→ 本機に音楽データを転送する（☞19ページ）。
電池残量がありません	電池残量がない。	→ 電池を充電する（☞12ページ）。
登録制限数を超えています	ブックマークの登録制限数を超えた。	→ 不要なブックマークを消し（☞30ページ）制限数以内でブックマークをつける。
トラックがありません	曲一覧で曲が表示されていない状態で、再生しようとした。	→ 曲が表示されている曲一覧で再生する。 → 本機に音楽データを転送する（☞19ページ）。

表示	意味	処置
本機では再生できないトラックです	● 本機で再生が許可されていない曲を再生しようとした。 ● 回数制限付きの曲を再生しようとした。	→ 本機で再生が許可されていない曲は再生できない。
ラインアウト設定のため変更できません	「Audio Out」の設定が「Line Out」のときに、音量または「Sound」の設定を変更しようとした。	→ 「Audio Out」の設定を「Headphone」にする（☞35ページ）。
ACパワーアダプターをつないで下さい	● USBクレードルのDC INジャックにACパワーアダプターが接続されていない状態で、パソコンと接続した。 ● パソコン接続中にACパワーアダプターがUSBクレードルから抜かれた。	→ ACパワーアダプターをUSBクレードルに接続する（☞19ページ）。
AVLS ON 音量を上げられません	音量がAVLSの制限値まで上がった。	→ 「AVLS」の設定を「Off」にする（☞35ページ）。
HDDが正しく初期化されていません	● ハードディスクが正しく初期化されていない。 ● パソコンで初期化されている。 ● ハードディスク交換などで初期化していない。	→ ハードディスクを初期化しなおす（☞41ページ）。
HDDは5℃～35℃で書き込み可能です	書き込み可能温度（5～35℃）の範囲外で操作しようとした。	→ 5～35℃の範囲内で操作する。
HOLDがかかっています	HOLDスイッチがONになっているため、本機の操作ができない。	→ 本体またはリモコンのHOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドして、HOLDを解除する（☞24ページ）。
5℃～35℃内で充電して下さい	充電可能温度（5～35℃）の範囲外で充電しようとした。	→ 5～35℃の範囲内で充電する。

お手入れ

キャビネットの汚れは

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、乾ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。USB クレードル接続部分のすき間から内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾ぶきしてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ポータブルハードディスクオーディオプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後６年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

記録できる最大曲数*の目安

ATRAC3	ATRAC3plus
5,000曲（132kbps）	2,500曲（256kbps）
6,000曲（105kbps）	10,000曲（64kbps）
10,000曲（66kbps）	13,000曲（48kbps）

* 1曲4分の曲を転送した場合

サンプリング周波数特性
44.1kHz

再生信号圧縮方式
アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3（ATRAC3）、アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3plus（ATRAC3plus）

周波数特性*
20 Hz ～ 20,000 Hz（再生時、単信号測定）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

出力端子
🎧（ヘッドホン）/LINE OUT*：
ステレオミニジャック（専用リモコンジャック）/194mV（10k Ω）

* ヘッドホンとLINE OUTは兼用ジャックです。

動作温度
5 ～ 35℃

電源
DC IN 6V内蔵充電式電池使用

電池持続時間（連続再生時）
ATRAC3plus形式（48kbps）：約30時間

本体寸法（幅×高さ×奥行き）
約89.0×62.1×13.8（最薄部12.6）mm
（最大突起部を含まず）

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（JEITA*）
約89.2×63.4×14.3 mm

質量
本体：約110 g（JEITA*）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

索引

A、B、C、D

E、F、G、H

I、J、K、L

M、N、O、P

Q、R、S、T

U、V、W、X、Y、Z

記号

お問合せ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ（http://www.sony.co.jp/support-pa/）**
  ネットワークウォークマンに関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［オーディオ］－［ウォークマン］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆セット本体に関するご質問時：
    - 型名：NW-HD1
    - 製造（シリアル）番号：本体裏面のラベルに記載。
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境（「必要な環境を準備する」☞15ページ）を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル …………0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ………………………0466-31-2595

受付時間　：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

Sony Corporation